

# 令和5年度（2023年度）第3回 南檜山地域・職域連携推進連絡会

日時：令和6年2月20日（火）15:30～17:00

場所：江差保健所2階会議室／ZOOM

出席：15名

## 1 本連絡会の目的や経過の確認

- ▶別添資料に基づき、働く世代に対する健康づくりの必要性、当地域における活動推進のイメージを説明した。

## 2 各団体における取組みの報告、課題や成果に関する意見交換

- ▶前回会議以降、各団体で取り組んだことを報告してもらい、その成果や課題、今後に向けたアイディアなどを共有した。

### <江差町>

- ・AIを活用した健診の受診勧奨を行っている。実施して5年になるが、近年は受診率が伸び悩んでいる。今年度からがん検診と合わせた受診勧奨も実施。道立江差病院とのみなし健診にも取り組んでいる。
- ・働く世代への対策として、夜間の健診実施等工夫している。重症化しないための相談の場として重要と考える。
- ・健康増進計画第2期の作成にあたり、住民からの声を拾った。働く世代への保健事業の周知に課題がある。（3月11日に計画説明会を開催予定）
- ・高校1年生に塩分摂取調査を実施したところ、1日30g摂取している生徒がいた。子どもの減塩対策も必要と感じている。

### <厚沢部町>

- ・AIを活用した健診の受診勧奨を行っている。
- ・厚沢部町国保病院で特定健診とがん検診を受けられるようになったことが、受診率アップにつながっていると考えられる。肺がん検診ではCTも撮るようにした。
- ・コロナの影響もあり、近年集団の健康教育、健康まつり等が実施できていないため、今後検討していきたい。働く世代へのアプローチも必要と考えている。夜間／休日の設定も可。

### <乙部町>

- ・AIを活用した健診の受診勧奨を行っている。
- ・乙部町国保病院の医師が受診勧奨してくれていることや、通院時に健診項目の検査をすることで「みなし健診」となっていることが受診率アップにつながっていると考えられるが、ほとんどが高齢者。
- ・健康増進計画に関して住民と意見交換会を行った際に、健診のことを知らないという声も聞かれた。がん健診の周知や年齢別勧奨を行い、広めていきたい。
- ・働く世代への介入として、商工会等と連携していきたいと考えている。

### <奥尻町>

- ・未受診者対策（国保ヘルスアップ事業）として、KDBで名簿整理し、家庭訪問により直接受診勧奨している。
- ・データヘルス計画第3期におけるデータ分析から、糖尿病治療中断者が多い傾向がみられる。重症化予防対策が必要。
- ・健康教育があまりできていない。後期高齢者への対策にも取り組んでいきたい。

#### <JA 厚沢部>

- ・年1回、家族も受けることができる健診を実施。職員は義務的に「けんぽ組合」の健診を受けており、所属長から直接2次検診への勧奨・声かけを行っている。
- ・巡回ドックの時期（10月）が繁忙期と重なっており、受診率が低迷しているのが課題。日程は委託先の札幌厚生病院で調整しているため、変更は難しい。朝6時30分から実施するなど工夫をしているが、今後は役場との情報共有に努めていきたい。
- ・保険組合から健康づくりに関するパンフレット等が送付されるため、組合員に配付したり窓口配置している。

#### <建設協会>

- ・檜山7町で31社が加盟している。事務局2名体制のため各事業所への指導はできていないので、小規模事業者への指導・助言に関しては、産保センターに協力いただきたい。
- ・函館市の医療機関を活用して健診を実施する企業等もあり、様々な方法がとられている。
- ・各地区で温度差を感じるため、例えば、幹部が集まる機会（年3回）に保健所から説明してもらうなども方法の1つと考えている。

#### <産保センター>

- ・令和6年度は南檜山にも出向きたいと考えている。
- ・働き方改革により、夜間・休日の対応が難しくなっている。
- ・糖尿病、高血圧が増えている印象。
- ・江差町が住民意見交換の場にスポーツ少年団（母集団代表）を呼んだと言っていたが、このような集団に働きかけることが社保の対象層とのつながりになるのではないかと。

#### <事務局>

- ・人材が少ない地域。働き手を維持していくためにも、重症化しないための介入が必要。

#### <労基署>

- ・50人以上の企業には健診結果の報告が義務づけされており、報告がない企業等に催促の連絡をしている。
- ・特殊健診（塗装業、潜水業など）について認識していない事業所が見受けられる。
- ・昨今は、労働時間の削減が大きな課題となっている。説明会等において、過重労働や仕事と治療の両立化、メンタルヘルス等の普及啓発をしている。

#### <商工会連合会>

- ・各町商工会への窓口となることはできる。可能な範囲でチラシの配布等の協力もできる。
- ・約1000か所（うち小規模事業所は約850）を管轄している。加入率66%なので、法人400、個人300くらい。
- ・江差と乙部の商工会は連合会が斡旋している健診を使っており、750人が受診。厚沢部と奥尻は商工会ごとに任せている。上ノ国町は札医大（？）の健診と連携している。

#### <道立江差病院>

- ・働き方改革のため、土日や夜間にも対応している健診対策とは逆行していると感じる。健診に対応できる医師も少ない（当院は院長のみ）。
- ・みなし健診についても課題が多い（医師の所見を書くには問診が必要だが、それに対応できる日程が限られるなど）。
- ・新たな企業が参入し当院で健診を受けている様子は見受けられないが、比較的大きな企業では、下請け会社の健診コーディネートを代行業者に委託しているパターンも見受けられる。

### **3 今後の取り組みに向けて**

#### **<JA 厚沢部>**

- ・厚沢部町国保病院で健診・がん検診が受けられることを知ったので、活用したい。

#### **<江差町>**

- ・ターゲット層に向けた配布物について、農協や商工会を活用していくことを検討したい。

#### **<商工会連合会>**

- ・各町商工会へのパンフレット・チラシの送付や簡単な聞き取り調査など、橋渡しのことはできる。

#### **<乙部町>**

- ・商工会の実態がわかったので今後アプローチしていく。今まで国保だった人が社保に切り替わり、なかなか介入しにくいといった課題もある。
- ・漁業の職域に健康課題があるが、未だ実態がわからない。キーパーソンを見つけるのも難しい。この連絡会を通じて引き込むことができないか。

#### **<事務局>**

- ・必要であれば各町の商工会の担当者に出席してもらうなど、より実務者を引き込む方法もある。適任者に関する情報があれば紹介いただきたい。

### **4 その他**

次年度も年3回程度の連絡会を開催予定。各団体の取り組み推進と成果や課題の共有を行っていく。